

1. 事業の位置付け

事務事業名	地区公民館整備事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	01-100502-010200	事業種類	● ハード      ○ ソフト
総合計画の位置付け	05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	03	③〈利便性〉 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等	社会教育法第21条		
対象・受益者	市民	事業期間	～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 地域で組織する建設準備委員会】		
目的・目標		事業の概要	
老朽化や狭あい化、市民ニーズの多様化に対応するため、施設の充実が図られています。		生涯学習活動の推進のため、老朽化した中原公民館を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	中原公民館整備打合わせ回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			7	8	10			
	実績			9					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	中原公民館整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：実施設計10%、H20：建設工事等70%、H21：外構工事等20%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			10	80	100			
	実績			10					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
中原公民館の建て替えに伴い、地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と建設全般に渡っての協議を完了し、実施設計委託を発注して実施設計が完了した。これにより計画どおり建設工事に向けて準備を進めることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公民館は風水害時の第1次避難施設であり、地震の際にも弱者の避難施設として指定されていることから、老朽化及び人口増加による狭あい化などから建て替えが必要となっている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	建て替えにより避難施設としての安全確保、また社会教育施設として生涯学習推進のための支援を行うこととなり、有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域住民の理解を求めてから進めている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と建設全般に渡って協議を進めてきたことで、地元の意向も反映させて設計された公民館とする。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		地域住民や地域団体への情報提供、補償や工事に伴う苦情等について、的確に対応していく。		

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				実施設計	解体・特殊基礎・ 建設工事	建設・外構・植栽 工事、太陽光発電 設備など		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	9,000	0	0	0
	起債	0	0	0	70,000	50,000	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	5,817	21,034	12,974	0	0
事業費 (A)		0	0	5,817	100,034	62,974	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	52.88				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,518	2,518	2,518	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	8,335	102,552	65,492	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成20年度から21年度までの継続事業であり、完成年度は初度調弁なども地元の意向を取り入れていきたい。	
平成21年度 of 取組方針	
地域住民の理解を求めながら、工事が予定どおりに進むように建築住宅課と連携して進行管理を行う。	
課長コメント	着実に事業を展開することにより、生涯学習の地域拠点としての機能の充実を図る。

## 5. 事業展開の経緯

	平成17年度事業分	平成18年度事業分	平成19年度事業分
進捗状況	—	—	①：予定どおり
主な取組と成果			中原公民館の建て替えに伴い、地域の関係団体で組織する「中原公民館建設準備委員会」と建設全般に渡っての協議を完了し、実施設計委託を発注して実施設計が完了した。これにより計画どおり建設工事に向けて準備を進めることができた。
検証結果	—	—	A：成果があがった
	平成19年度への展開	平成20年度への展開	平成21年度への展開
今後に向けた課題			地域住民や地域団体への情報提供、補償や工事に伴う苦情等について、的確に対応していく。
事業の方向性	—	—	現状の規模で継続
取組方針			地域住民の理解を求めながら、工事が予定どおりに進むように建築住宅課と連携して進行管理を行う。
事業区分	—	—	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。